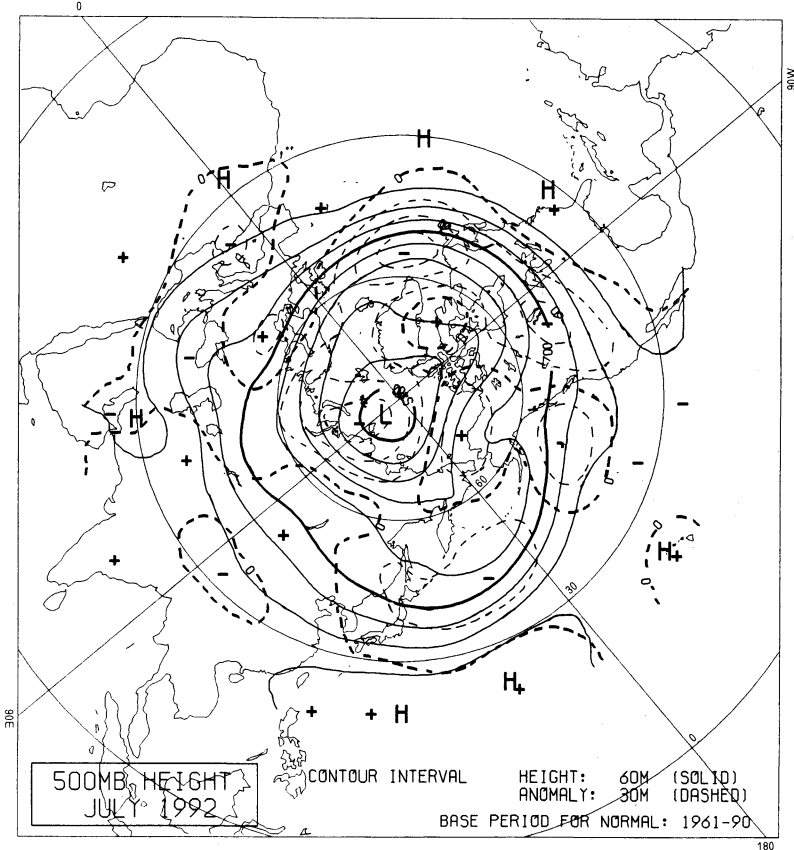


1992年7月の大気大循環と世界の天候 月平均 500mb 天気図.



(破線は平年からの偏差. 単位m)

表1 1992年 7月の気候表

地点名	気温 ℃	偏差 ℃	DT/SD	降水量 mm	比率 %	降水 階級	地点名	気温 ℃	偏差 ℃	DT/SD	降水量 mm	比率 %	降水 階級
パリ	19.5	1.3	1.0	29	57	—	カサブランカ	22.4	0.2	0.3	0	0	3
ベルリン	20.9	2.2	1.4	98	161	5	ニオロドサヘル	30.2	1.0	1.3	172	109	4
ローマ	—	—	—	—	—	—	プレトリア	—	—	—	—	—	—
イスタンブール	21.9	-1.3	-1.9	31	177	5	バンクーバー	18.4	1.1	1.1	42	127	4
モスクワ	18.6	0.2	0.1	23	27	—	ニューオリンズ	28.4	0.3	0.3	146	79	2
オデッサ	22.1	0.3	0.2	54	125	4	セントルイス	26.1	0.0	0.0	110	119	4
ニューデリー	30.7	-0.3	-0.3	87	37	1	サンフランシスコ	18.8	2.0	2.5	0	0	3
カルカッタ	—	—	—	—	—	—	ニューヨーク	24.1	-0.6	-0.6	111	123	4
ボンベイ	28.3	0.7	2.3	492	66	1	マナウス	—	—	—	—	—	—
ホンコン	27.9	—	—	349	—	4	サンパウロ	—	—	—	—	—	—
チャンチュン	23.2	0.3	0.3	141	77	2	ロサリオ	—	—	—	—	—	—
ベキン	26.8	0.9	1.0	154	80	2	ホノルル	—	—	—	—	—	—
シャンハイ	28.0	—	—	24	—	1	タヒチ	25.2	0.8	2.0	0	0	0
バンコク	29.2	0.5	1.3	218	126	—	ダーウィン	25.0	0.3	0.4	0	0	4
マニラ	—	—	—	—	—	—	キャンベラ	5.9	0.5	0.6	17	43	1

7月の世界の天候

7月の月平均500mb高度天気図では、極渦は極付近で強く、北半球極渦指数は3カ月続けて負偏差となった。リッジはアラスカ、中央シベリア、ヨーロッパ付近に存在し、上旬を中心に3波数の循環が卓越した。大西洋から北アメリカにかけての50°N帯では強い負偏差となり、カナダ東部からアメリカ合衆国北部にかけては記録的な低温となった。

① インドの高温

インドではほぼ全域で高温となった。特にモンスーンが不活発で少雨にもなった中部では、ナグプールの月平均気温が30.1°C（年平均偏差+2.3°C）となるなどかなりの高温となった。

② 中東からアフリカ北部にかけての低温

冬から低温傾向が続いている中東からアフリカ北部にかけての地域では7月も引き続き低温となった。トルコのアンカラでは月平均気温が20.5°C（年平均偏差-2.6°C）となった。

③ カナダ東部からアメリカ合衆国北部にかけての低温

500mb高度で強い負偏差域に覆われたカナダ東部か

らアメリカ合衆國中・東部にかけての広い地域では、6月に引き続き顕著な低温となり、ミネアポリスでは月平均気温が18.8°C（年平均偏差-4.2°C）を記録した。この低温で中西部の耕作地帯では大豆やとうもろこしなどの農作物の生育の遅れが懸念された。

④ アメリカ合衆国中西部の多雨

アメリカ合衆国ではほぼ全域で多雨となった。中でも強い傾圧帯となった中西部では、コロンバスで月降水量が314mm（平年の3.2倍）となるなど顕著な低温に加えてかなりの多雨となった。

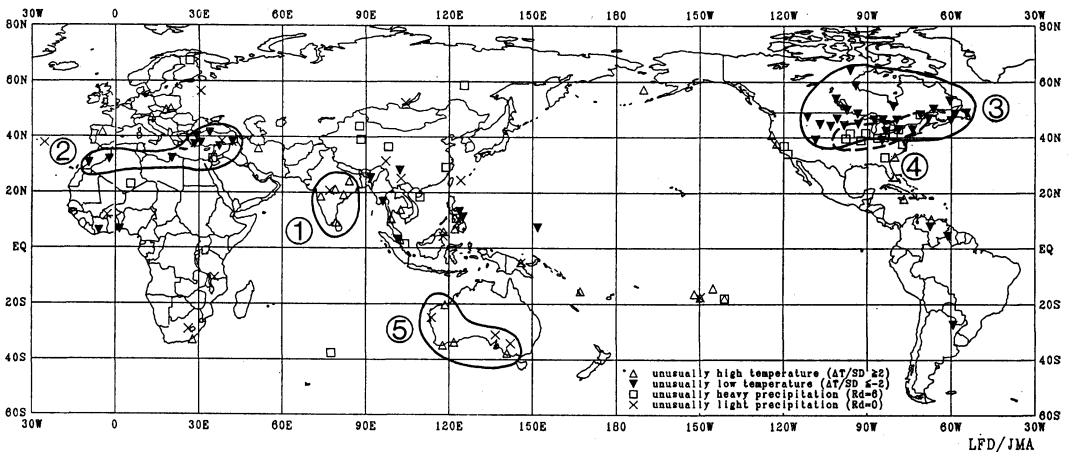
⑤ オーストラリアの高温

西部から南部にかけて高温少雨となった。

⑥ その他

長期の干ばつが続いていたフィリピン南部やニューージーランドでは平年を上回る降水となったが、ジンバブエから南アフリカにかけては全く雨が降らなかった。また、リッジに覆われたヨーロッパでは東欧を中心に少雨となり干ばつの被害が出始めた。

（気象庁長期予報課 藤川典久）



1992年7月の世界の異常天候分布図

△：高温 ▼：低温

図中の番号は、本文中の番号と対応している。

□：多雨 ×：少雨

1992年7月の気候表の説明。平均値は1951～1980年のデータに基づくもの。降水階級は五分位値で、0は最小値より小さい場合、6は最大値より大きい場合。500mb高度場の平均値は1961～1990年の30年平均値。